

授業概要 (シラバス)

専門学校日本ホテルスクール

■科目基本情報

科目番号	GS201	分類	講義科目
授業科目名	国際情勢2	英文授業科目名	Current Affairs II
年度	2025年度	年次	昼間部 2年 ホテル科・ブライダル科
開講学期	通年	授業の方法	講義科目
単位数	2単位	年間授業時間数	28.8時間
科目区分	一般教育科目	授業コマ数	24コマ
担当教員名	井出 弘毅	実務経験なし	備考
経歴			

■授業・科目情報

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 海外の情勢や時事問題に興味を抱き、深い理解に基づきながら、自身で課題を設定し探究的な考察をする。 国際情勢を理解するための基礎的・基本的な知識・技能を習得、主体的に問題解決ができるようになる。 情報を読み解きテラシーに磨きをかけ、自ら考え判断することができるようになる。 グローバル化が進展する社会において、適切な他者理解ができるよう、文化の多様性を理解する。 外国の事柄について、自分の言葉で論理的に説明し、自分の考えを論理的に表現できるようになる。 		
教科書			
授業計画	回数	内容	
	1	オリエンテーション(講師の自己紹介・授業内容の紹介、評価方法、授業コメントについてなど)	
	2	国とはどのようなものか	
	3	国民国家とは何か	
	4	世界の人種と民族	
	5	宗教とはどのような文化か	
	6	3大宗教の聖地エルサレム	
	7	移民国家アメリカ	
	8	欧州連合	
	9	分断国家 韓国と北朝鮮	
	10	世界の環境問題	
	11	世界のエネルギー問題、前期のポイントのまとめ	
	12	まとめ/試験	
	13	試験返却・解説、SDGsとは	
	14	ホテル・ブライダル業界におけるSDGs	
	15	難民問題	
	16	民族問題	
	17	世界のマイノリティ問題	
	18	日本の外国人労働者問題	
	19	日本における国際結婚	
	20	ポリティカル・コレクトネスをめぐる議論(1)	
	21	ポリティカル・コレクトネスをめぐる議論(2)	
	22	映像から見る国際情勢	
	23	後期のポイントのまとめ	
	24	まとめ/試験	
授業の進め方	<p>毎回の授業開始時に、前回の授業以降の国際的なニュースを自由に出してもらい、それらについて若干の解説をする。授業は座学だが、よりリアリティを感じられるように、画像や動画といった資料を紹介していく。学生からの質問については、まずは学生自身が調べることを促す。その際どのようにして調べるのかについて、簡単に方向性を示す。その上で責任を持って解説することとする。講師側からの一方的な情報の伝達に陥らないよう、双方向性の授業を展開することに努める。毎回の授業では、ポイントを明確に示し、それについてきちんと理解できたかどうかを確認していく。特に重要な国際的トピックがあった場合には、授業内容を変更して解説する予定である。間違った知識や偏見などについては、できる限り授業内で解決していきたいと考えている。</p>		
試験の実施方法	<p>前後期各1回 試験期間に設定し、形式は文書試験とする。</p>		
成績評価方法	<p>本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。 ①試験得点 = 50% (10ポイント) ②出席率 = 50% (10ポイント) 上記の2つの項目をそれぞれ10ポイント(合計20ポイント)に置き換えて、そのポイントに応じてA,B,C,D,F評定を決定する。 尚、前提基準として①試験全体平均点の50%未満。または②出席率の50%未満に該当する場合には「F」評価とするが、通年教科の後期学年末の評価については、前期および後期全体の状況をもって算出する。</p>		
関連科目	国際情勢1、異文化コミュニケーション、グローバルスタディ		
参考書	井出弘毅(2024)『国際情勢2資料集』2024年度版		
学生へのメッセージ	<p>ホテル・ブライダル、飲食などホスピタリティ業界の現場では、様々なお客様との出会いがあります。接客をする上で、国際的な知識があればあるほど役に立ちます。この科目では、日々の国際ニュースを取り上げ、「今」起こっていることを理解することももちろん、世界の仕組みや外国の事柄、国際問題に対する見方・考え方を共有していきます。見方によっては、同じ事実が全く違うものに見えてくることなど、相対的なモノの見方ができるよう、「見て、知って、考える」ことを目指します。</p>		

以上